

Ⅰ 図上訓練について

(1) 実施日時

令和5年9月28日（木），令和5年9月29日（金） 13時30分から16時00分まで

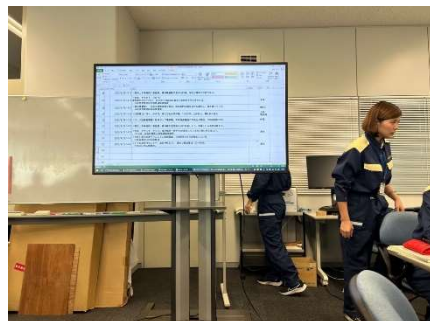
(2) 実施目的

近年は，地球温暖化の影響に伴い，全国的に異常気象（線状降水帯の発生等）による災害の激甚化・頻発化が進んでいる中，本市では幸いにも大きな被害をもたらす災害は発生していない。それゆえ，防災対策部内において災害対応を経験していない又は経験が少ない職員が増えてきており，今後の災害発生に備えて部内の体制強化を図るために実施。

(3) 訓練内容

風水害を想定し，過去の図上訓練や実際の災害対応のクロノロジーを参考とした状況付与を防災対策部職員で行い，各種付与項目に応じた対応策を講じるもの。

(4) 訓練の様子



訓練の実施状況について

2 BCP・受援計画に基づく初動訓練について

(1) 実施日時

令和5年11月2日（木）10時00分から12時00分まで

(2) 訓練概要

対象：全部局（消防局・上下水道局は訓練の一部のみ実施）

- ①緊急地震速報訓練（机の下に隠れる等）
- ②「安否確認システム」を活用した安否確認メールの受信及び回答
- ③所属長による所属職員の参集見込回答状況の確認
- ④部局内の職員参集状況の取りまとめ、部局内における受援調整 等

(3) 実施報告（講評・課題等）

- ・安否確認メールの「受信者の応答機能」を活用した全庁訓練は初めての実施となり、回答率85.7%であった。回答率100%を目指し、今後も、人事課と連携して、当該システムの定期的な庁内周知や訓練実施に取り組んでいくことが必要である。

※ 回答結果（11月2日14時時点）

	対象者数	回答者数	回答率
計	2,577	2,208	85.7%

（会計年度任用職員・事務補助員等、保育士・学校教職員等は対象外、休業中の職員は含む）

- ・各部署長・所属長を中心に、職員の参集見込を踏まえて、BCPに基づく非常時優先業務の実施に向けた人員調整を行い、人員の過不足について防災政策課に報告するまでを訓練とした。各部署ごとに、人員調整を行うフェーズ（時点）の考え方にバラつきが出たため、次年度以降の訓練実施に当たっては、訓練想定やシナリオ設定の改善が必要である。
- ・訓練実施後のアンケート調査等において、安否確認メールの受信対象者や、所属長以上に付与されている所属職員の回答状況の閲覧権限について、さまざまな意見があった。特に、閲覧権限については、BCPで位置づけている「職務権限の代行順位」との整合が必要であるため、改善に向けて人事課と検討を進める。
- ・本訓練実施により、BCP（令和3年度策定）及び受援計画（令和4年度策定）を全庁で考える良い機会となった。今後も、計画の実効性確保に向けて、計画の見直しや訓練実施を継続していくことが必要である。

訓練の実施状況について

3 総合防災訓練について

(1) 実施日時

令和6年1月20日(土) 9時00分から12時00分まで

(2) 会場

鏡川みどりの広場

(3) 訓練内容

- ①緊急地震速報対応訓練(高知地方气象台) ②シェイクアウト訓練(高知市) ③情報収集訓練(消防/自衛隊)
- ④津波火災放水訓練(消防) ⑤合同調整所設置訓練(消防/自衛隊) ⑥救助救出訓練(消防/自衛隊)
- ⑦広域避難訓練(高知市/高知県/仁淀川町/市民等) ⑧災害救急医療救護活動訓練(高知市/消防)
- ⑨避難所デジタル受付実証訓練(高知市/NTTビジネスソリューションズ) ⑩応急給水訓練(上下水道局)
- ⑪物資配送訓練(株式会社中四国丸和ロジスティクス) ⑫応急復旧訓練(四国電力送配電)
- ⑬災害報道訓練(NHK高知放送局)

※ ①②は同時実施

※ ③~⑫の訓練については、同時並行的に次々実施

※ ⑬の訓練については、⑥~⑨の訓練に関与



(4) 参加人数

参加機関：約300人
来賓・一般：約900人
合計：約1,200人